



ダメ自慢

電車の中での女子高生の会話。ちなみに、日比谷生ではありません。(かなりのフィクションを含む)

*

A：あ～今日返ってきた英語のテスト、もう最低～。

B：私も。もう完全にMFDよ。

C：何々、MFDって？

B：英語の授業でやったじゃん。死亡フラグのことだよ。

C：知らな～い、そんなのいつやったの？

D：そういえば、あんな寝てたかも。

C：え～、ほんと～に、知らな～い、知らな～い。ますます英語がバカになっちゃうよお～どうしよう～～

D：でも、MFDって、何だっけ？

B：え～っと、何だっけ？ Man of dead だっけ？

D：それじゃあMODじゃん。

B：あっ、そうか？ 何だっけ？

A：私の方見たってダメだよ。もう完全に英語は死亡だもんね。

(閑話休題。君たちは知っているのだろうかMFD？ 答：「Marked for Death」ですな。「death(です)」ですな…なんちゃって…)

*

A：でもさ、Dちゃんは数学できるからイイじゃん。

D：そんなことないよ。

B：そんなことあるよ。私なんて16点…。

C：え～、いいないいな、私なんて、ある昆虫の足の数だよ。

D：え～Cちゃん、すごいじゃない。だって、ムカデなら、100点ってことだよ！

A：ホントだ、Cちゃん、すごいすごい！

B：100点なの～、うらやましい～～

C：もう、みんなったら。ムカデのわけないじゃん！ アリだよアリ。

B：アリって何本足？

D：8本じゃなかったっけ？

C：違うよ。8本はクモだよ。アリは6本。

D：Cちゃん、すご～い。昆虫のこと、詳しいんだねえ。私、昆虫の足のことなんか、全然知らなかったよ。知らないどころか、ムシって大っ嫌い！

C：私だって嫌いだよ。もうそんなことよりも、数学6点だよ。どうしよう～～。あ～英語も一桁だし。あ～あ～あ～～

(以下、同レベルの会話が続く…)

*

不思議なもので、どの学校でも考査が返ってくると、「ダメ自慢」が始まるのはなぜだろうね(笑)。君たちだって覚えがあるに違いない。この辺りの心理分析を考えてみるとおもしろいかも知れないね。

さて、合唱祭はダメ自慢をしていてもはじまらない。練習が毎日遅くまでで大変だが、居残り同意書も全員分提出されているので、来週あと4日間、下校の7時までしっかり練習しよう。歌っていなかったり、恥ずかしいからといってふざけた態度をとったり、真剣に取り組んでいなかったりすると、審査員席からは実によく見えるのである。歌だけでなく、クラスの取り組みの真剣さも見られているのだから、練習が遅れ気味の人がいたら、パートリーダーが中心になって声をかけあい、クラス全員での合唱を完成させよう。